Ramsar Center Japan
c/o Maple Tours Travel Agency
Room 101, 2-3-1 Meguro, Meguro-ku,
Tokyo 153-0063, JAPAN
Tel&Fax:+81 3-3792-5513

ラムサールセンター（湿地と人間研究会）
153-0063 東京都目黒区目黒2-3-1-101
(メープル・ツアーズ内)
Tel:&Fax: 03-3792-5513
E-mail:ramsarcj.nakamura@nifty.com
https://ramsar-cj.site/

＜ラムサール通信＞
2022 年 11 月 10 日発行　第 213 号

## ●第 113 回＜ワイズユース＞ワークショップを開催します●

第 113 回＜ワイズユース＞ワークショップを、下記のとおり開催します。

今回は、「東南アジアでのマングローブ保全活動」がテーマです。公益社団法人日本マレーシア協会の新井卓治さん（専務理事・RCJ 会員）に日本マレーシア協会のマレーシアでのマングローブ保全活動について、亀山保さん（RCJ フェロー）に今年３月で終了したラムサールセンターのミャンマー・ウトゥ村でのマングローブ保全活動（トヨタ環境活動プログラム助成事業）について話していただきます。久しぶりに対面参加でのワークショップ実施とします。オンライン参加もできます。みなさんお集まりください。

【日時】：　2022 年 11 月 27 日(日)　14 時～16 時
【会場】：　JICA 地球環境ひろば　セミナールーム 202B
JR「市ヶ谷」徒歩 10 分
地下鉄「市ヶ谷」　徒歩８～10 分

【オンライン参加方法】
Zoom ミーティング ID：　883 9915 4020
ミーティングパスワード：　Wuws113

右 QR からもご参加いただけます。

## ●ラムサール条約第 14 回締約国会議（COP14）への参加●

2022 年 11 月５日から、開催される COP14 に RCJ からも代表を派遣します。中国の湖南省武漢市で昨年度開催される予定でしたが、新型コロナ問題で延期され、今年は武漢市とスイスのジュネーブをつないでのハイブリッド開催となりました。ラムサールセンターからは会長の岩崎慎平さん、事務局長の北本健人さん、尾崎友紀さん、中村玲子さんが参加し、会議参加と現地でのブース出展、会場付近の湿地視察を予定しております。ブース出展では、BoBWet 事業の紹介、PWW 事業の紹介、KODOMO ラムサールの紹介を行います。

会議の様子や決議内容の解説は、後日第 114 回＜ワイズユース＞ワークショップで報告する予定です。ワークショップ開催の詳細は改めてお知らせします。

## ●日本湿地学会　第14回（2022年度）釧路大会に参加しました●

９月３日、４日に釧路市で開催された、日本湿地学会第 14 回（2022 年度）釧路大会にラムサールセンター会長の岩崎慎平さん、事務局長の北本健人さん、副会長の鈴木詩衣菜さんと田辺篤志さん、会員の佐藤琢磨さん、佐藤奈津子さん、中村秀次さん、中村玲子さん、名執芳博さんが参加しました。

1993 年に COP5 が開催された釧路市観光国際交流センターを主会場として、湿地に係わる論文発表や北海道の湿地保全をテーマとした特別セッションが行われました。４日（日）には、一般公開特別シンポジウム「ラムサール条約釧路会議から 30 年を振り返る」が盛況に開催され、釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原、片野鴨池、谷津干潟、琵琶湖の、1993 年にラムサール条約に登録された各地の湿地の過去と現在について、現地のレンジャーなどから報告がありました。午後は釧路湿原のエクスカーションで、新釧路川の治水や再生について学び、続いて温根内ビジターセンターを訪れ、湿原を散策しました。

釧路川河畔での懇親会においても交流や情報交換が盛んに行われ、日本各地の湿地の様々な状況をうかがい知ることができました。（佐藤奈津子）

## ●令和４年度ラムサール条約登録湿地関係市町村長会議●
## および第13回学習・交流会に参加しました

2022 年 10 月 20 日（木）、21 日（金）に栃木市で開催されたラムサール条約登録湿地関係市町村長会議に、副会長の新井雄喜さんと事務局長の北本健人さんが参加しました。初日に渡良瀬遊水地の現地視察と市町村長会議、２日目に学習・交流会が行われ、25 自治体と他関係機関、NGO・NPO から 60 名ほどが参加しました。

１日目の市町村会議内では、湿地保全に向け関係市町村において、多様なセクターとの連携や、環境教育および人材育成の促進に取り組むことを宣言する「渡良瀬遊水地宣言」が採択されました。２日目には「ラムサール条約登録湿地と自治体づくりの新段階」をテーマに、ラムサール条約湿地自治体認証制度に認定された出水市、新潟市をはじめとした各自治体での湿地保全の取組紹介や、渡良瀬遊水地で活動する市民団体の活動紹介など、盛りだくさんの内容となりました。

３年ぶりの対面開催に、会議内や休憩時間中にも活発な交流が行われていました。

・・・・・・・・・・・・・・・活動短報・・・・・・・・・・・・・・・

●湿地探訪：涸沼に行ってきました●

８月 20 日（日）に、茨城県茨城町・大洗町・鉾田市にまたがる涸沼へ、私と尾崎友紀さんの事務局２人で行ってきました。秋冬にはカモ類が多く立ち寄る渡来地の一つでもある汽水湖です。周辺キャンプ場や自然公園などでは釣りやオートキャンプを楽しむ人々の姿を見ることができました。（佐藤奈津子）

●ラムサールセンター元会長、安藤元一先生のお墓参り●

2020 年３月に逝去されたラムサールセンター前会長の安藤元一先生のお墓参りに行ってきました。安藤先生は、1992 年の第１回アジア湿地シンポジウム（大津市・釧路市）の開催実現に尽力いただき、その後の RCJ の「育ての親」的存在として、とくに RCJ を国際的な組織に発展させてくださいました。亡くなってからコロナ等でなかなか伺うことができませんでしたが、兵庫県宝塚市の墓地に、フェローの中村玲子さん、武者孝幸さん、副会長の田辺篤志さん、事務局長の北本健人さんの４人でようやくお参りすることができました。山の上の静かな墓所で、先生はやすらかに眠られていました。（北本健人）

○会員の皆様からのお便りを募集しています○

ラムサール通信では湿地や環境に関する各種案内を掲載し、会員のみなさんに発信をしていますが、会員の方々や関係者の方々の湿地や環境に関する活動の情報共有のツールとしても活用したいと考えています。

湿地や環境に関する、ニュースや簡易な報告などは今後も短報として発信したいと思いますので、報告や紹介したい出来事や記事、写真などがあったら、どうぞ事務局にご連絡ください。

○事務局連絡先：ramsarcj.nakamura@nifty.com